



「知への初々しい憧れと畏敬の念」 ～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第103号 令和3年12月3日

第6学年社会科見学

第6学年の社会科見学を12月2日（木）に実施しました。当日は、快晴でした。まるで祝福を受けているようでした。社会科見学の目的地は、二つ。皇居三の丸公園内の科学技術館と江戸東京博物館です。せっかく東京の中心に行くので、永田町周辺をバス車窓から見学します。ねらいは、既習内容の確認です。そして、博物館では、体験を通して、知的好奇心を高めてほしいと思いました。本学年は昨年度の行事がほとんど中止になった学年です。この社会科見学ができて本当によかったと思いました。

バスの中からは、国会議事堂、首相官邸、警視庁、桜田門、東京商工会議所、帝国劇場、農林水産省、国立国会図書館など見る事ができました。担任の先生が事前に調べた内容をタイムリーに説明するとともに、バスの運転手さんの機転の利く道路選択もあったため、なかなかよい東京観光という感じでした。

皇居二重橋にも実際に子ども85人が見学しました。皇宮警察官の方も、少し警備をゆるめてくれ、見学しやすそうにしてくれた感がありました。楠木正成の銅像もあり、子どもたちは誰だろう？と先生に聞くなどして、この武将の名前を覚えたようです。

科学技術館では、完璧なコロナ対策。誰もが安心して見学できます。子どもたちに人気があったのは、体を使ったビジュアルゲームでした。得点ランキングを競うことができました。江戸東京博物館では、江戸時代の生活がよく分かりました。大工の家などよく分かりました。腕時計で時間を計算して計画的に行動する子供の姿には、しっかりとしているなど感心しました。

お昼も暖かい気候で、ピクニック気分になることができましたし、隅田川を渡った直後、大きな相撲力士にも出会い、両国国技館近辺の様子を味わうことができました。かなりの体験量、多くの小学校も見学にきていたため、子どもたちは学び疲れしました。本校の講師の先生も、午後、プライベートで江戸東京博物館に来ていただき、子どもたちと共に過ごしていただきました。感謝でございます。

